

留学報告記

藤元 咲衣

私は韓国外国語大学に4か月間留学しました。

韓国外国語大学の周りには他の大学があり学生が多い街なので、飲食店が充実していました。また、ダイソーやマートも近くにあるので日用品も揃えやすかったです。寮にはキッチンがありませんでしたが、電子レンジや洗濯機やウォーターサーバーがあり不自由なく過ごすことができました。

私は語学堂と大学の授業を1学期受けました。語学堂の授業は全て韓国語で主に韓国語の文法を学びます。ペアワークやチームを作って討論をしたりするので、韓国人以外の外国の友達がたくさんできました。語学堂終わりに一緒にご飯を食べたり、休日に遊びに行ったりしたのが貴重な楽しい思い出です。

大学では日本時事と日本語という日本の時事ニュースを韓国語に翻訳する授業をとっていました。最初は知らない単語が多くて難しかったですが、徐々に慣れていき日本の時事ニュースを学びながら韓国語も勉強できて一石二鳥だなと思いながら授業を受けていました。先生も親しみやすい先生で授業がすべて終わってもうすぐ日本に帰るという時に同じ授業をとっていた友達と一緒にカフェに連れて行ってくださいました。日本に帰ってきてからも新年の挨拶をカトクで送ってくださったりとても生徒思いで良い先生に出会えました。

私が留学生活で1番印象に残ったのは部活動です。最初は天理大学でも卓球部で活動しているので、実力維持程度に練習できればいいなと思い入部しました。でもみんなで一緒に練習したり、試合に出ているうちにたくさんの思い出ができて帰るのが寂しくなりました。韓国にはフェシク文化という、何かがあるごとにみんなでご飯を食べに行く文化があります。卓球部でも練習終わりや試合終わりにみんなでご飯を食べに行くことが多くて、仲良くなれたし韓国語が上達したように思います。

部活動の中でも特に印象深いのは11月15、16日にみんなで堤川市まで行き、大学の全国大会に出た時のことです。

2日間にわたって試合があり、私は3種目出場しました。1日目でシングルスはベスト8で負けてしまい、ダブルスと団体戦は優勝したいと思って2日目に臨みました。しかし、ダブルスも決勝で負けて残りは団体戦のみとなりました。シングルスもダブルスもチームメイトがずっと後ろで応援してくれていましたが、団体戦はより一層みんなが一丸となり応援が飛び交っている中で試合ができて心から楽しかったです。そして優勝することがで

きました！試合が終わってからみんなが「さえのおかげで優勝できた」と言ってくれてすごく嬉しかったです。短い期間でしたが、外大の卓球部で活動させてもらえて感謝の気持ちでいっぱいだし、かけがえのない仲間と思い出ができました。

留学を終えて、短い期間でしたが本当に留学をしてよかったなと思っています。言語の面でももちろん行ってよかったと思いますが、それ以上に様々なことに対して自分の考え方を改めるきっかけになりました。

まず当たり前だと思っていたことに感謝できるようになりました。親の元を離れて生活したのが初めてだったので普段自分がいかに楽に生活をさせてもらっているのか身に染みてわかり、もっと感謝するべきだと心から感じました。

もう1つは多様性、国際性を学びました。1つ例を出すと中国ではご飯を少し残すのがマナーと習ったことがあったので中国人の友達にそのことについて聞いてみると、それは少し前の文化で今はみんな残さず食べると教えてもらいました。その話を聞いてから外国のことについてネットに書いてある情報だけを信じるべきではないと思いました。様々な人と関わったことで自分の常識だけにとらわれず広い視野で物事を見ることができるようになったと感じます。

たくさんのことを学べてかけがえのない思い出ができて、とても充実した留学生生活を過ごすことができました。